

## 在宅生活改善調査 集計結果

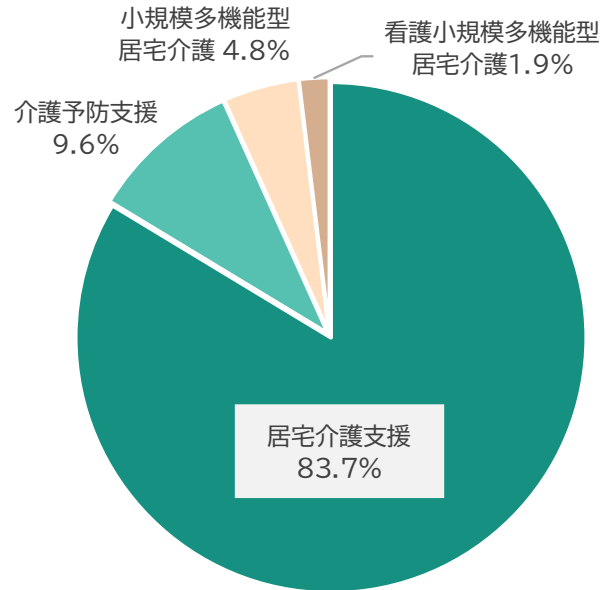
- 調査結果の各グラフ等には、その設問の集計対象者数を記載しています。この数には、無回答の事業所または人を含みます。
- 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

調査の対象	調査の目的	調査の概要
<p>横須賀市内のすべての 居宅介護支援事業所、 介護予防支援事業所、 小規模多機能型居宅介護事業所、 看護小規模多機能型居宅介護事業所</p> <p>実施期間 : 令和7年10月23日 ~令和8年1月31日</p> <p>発送事業所数 : 138件</p> <p>事業所票回収数 : 104件 (回収率 75.4%)</p>	<p>在宅生活改善調査では、過去1年間<sup>※1</sup>で在宅生活ではなくなった利用者と、現在居宅サービスを使用しながら在宅<sup>※2</sup>で生活している方で、「在宅での生活の維持が難しくなっている方」及び「家族等介護者の就労継続が難しくなっている方」の ①人数、②難しくなっている理由、 ③改善のために必要な支援・サービス等を把握します。生活等が難しくなっている方については、担当のケアマネジャー等にご判断いただき、抽出の上、ご回答いただきました。</p> <p>※1 過去1年間：令和6年10月1日 ~令和7年9月30日</p> <p>※2 在宅：自宅等及びサ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム</p>	<p>在宅生活改善調査は、事業所票を各事業所の管理者の方に、利用者票を各事業所所属のケアマネジャー等の方にご回答いただきました。</p> <p>本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。</p> <p>調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために、必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映します。</p>

# 1 調査の結果

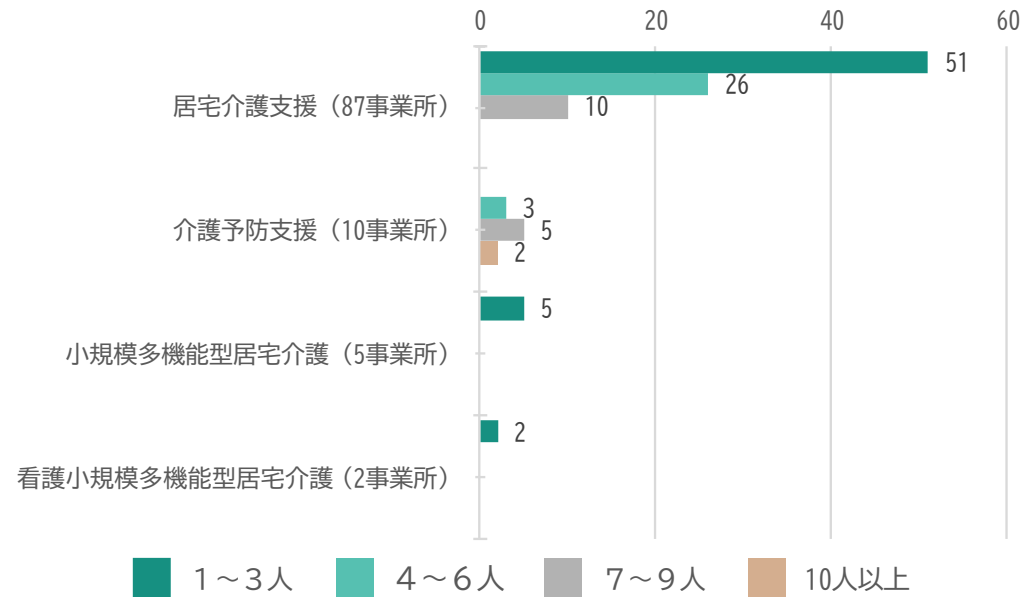
## 1. 基礎情報

(1) 回答事業所のサービス種別割合

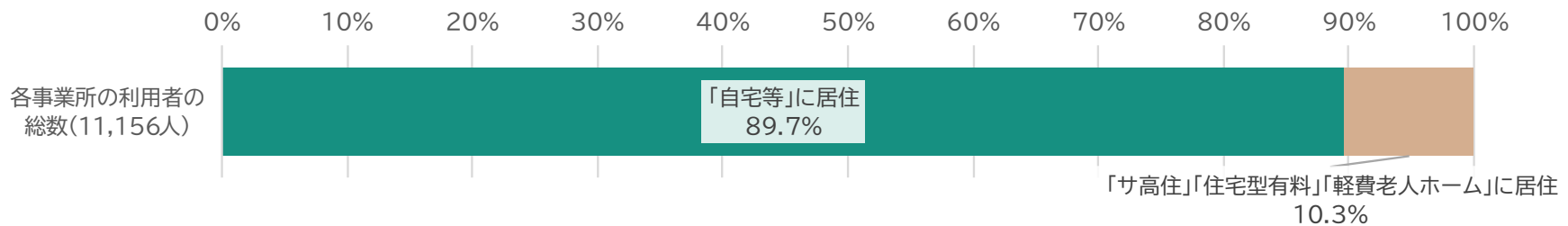


回答事業所数:104事業所

(2) 所属するケアマネジャー等の人数



(3) 利用者の居住地



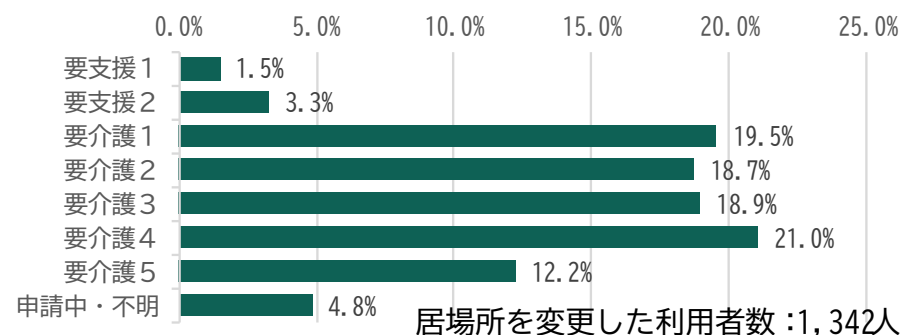
## 2. 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者について

### (1) 自宅等※から居場所を変更した利用者の行先別人数

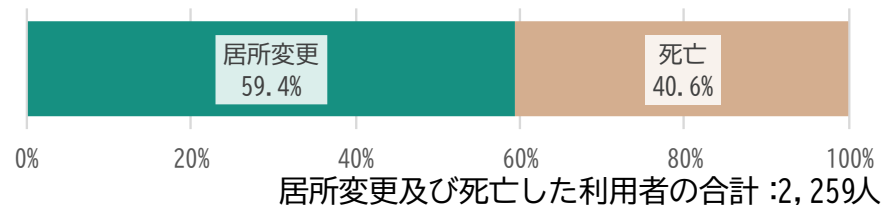
行先	横須賀市内	市外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	15人 1.1%	30人 2.2%	45人 3.4%
住宅型有料老人ホーム	152人 11.3%	51人 3.8%	203人 15.1%
軽費老人ホーム	9人 0.7%	0人 0.0%	9人 0.7%
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	54人 4.0%	24人 1.8%	78人 5.8%
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	85人 6.3%	2人 0.1%	87人 6.5%
特定施設入居者生活介護	60人 4.5%	26人 1.9%	86人 6.4%
地域密着型特定 施設入居者生活介護		1人 0.1%	1人 0.1%
介護老人保健施設	180人 13.4%	18人 1.3%	198人 14.8%
介護医療院		2人 0.1%	2人 0.1%
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	302人 22.5%	10人 0.7%	312人 23.2%
地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	232人 17.3%	35人 2.6%	267人 19.9%
その他	32人 2.4%	8人 0.6%	40人 3.0%
把握していない			14人 1.0%
合計	1,121人 83.5%	207人 15.4%	1,342人 100.0%

※「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません

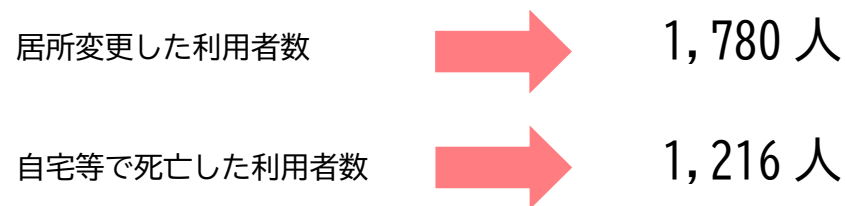
### (2) 居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



### (3) 過去1年間に居場所を変更した人と自宅等で死亡した人の割合



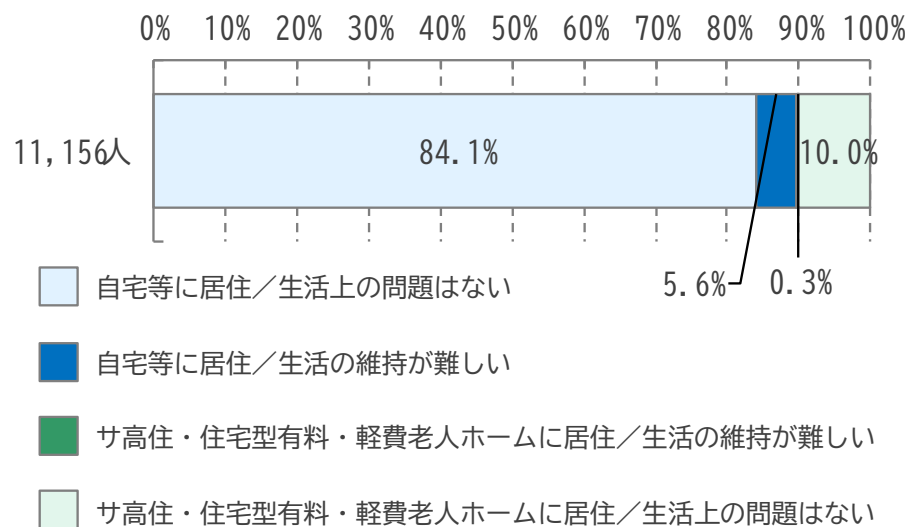
### (4) 過去1年間に居場所を変更した利用者の数及び自宅等で死亡した人の数について、横須賀市全体の粗推計※



※「粗推計」は、調査で得られた実数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

### 3. 「在宅での生活の維持が難しくなっている利用者」及び「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」について

(1) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



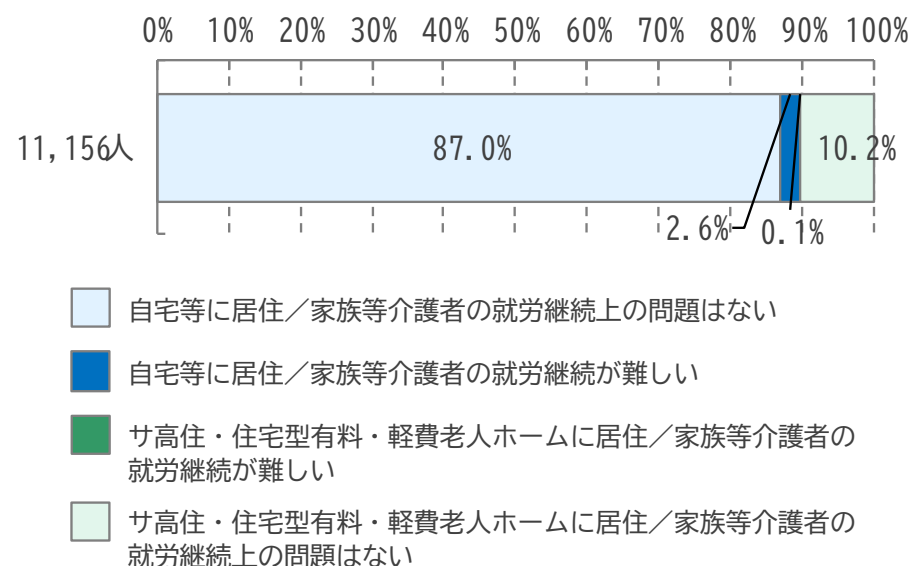
自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

➡ 5.9%

横須賀市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数の粗推計  
(新規申請中は要介護2以下を含む)

➡ 873人  
(要介護2以下)  
581人  
(要介護3以上)  
292人

(2) 現在、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、家族等介護者の就労継続が難しくなっている割合

➡ 2.7%

横須賀市全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数の粗推計  
(新規申請中は要介護2以下を含む)

➡ 404人  
(要介護2以下)  
261人  
(要介護3以上)  
142人

※ (1) と (2) には重複が含まれます (在宅での生活の維持が難しくなっている且つ家族等介護者の就労継続も難しくなっている利用者)

※ 「粗推計」の出し方は上段のとおり。小数点以下は四捨五入しているため、内訳が合わない場合があります

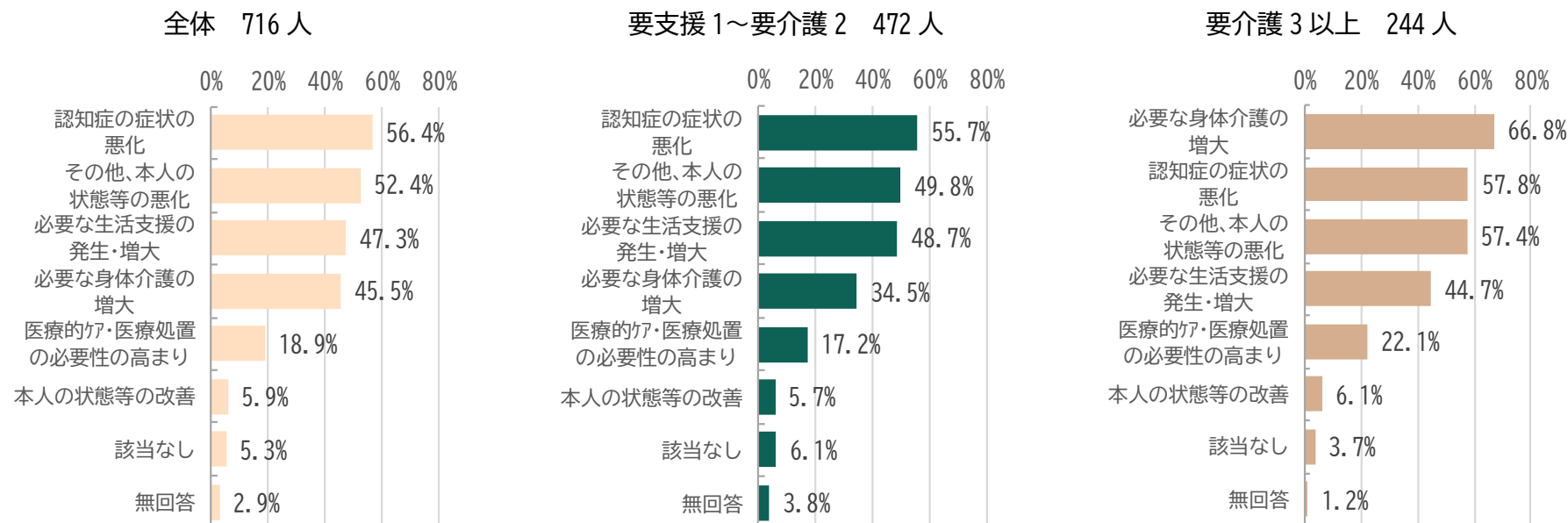
(3) 現在、「在宅での生活の維持が難しくなっている利用者」又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の属性

順位	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	子ども単身の同居	その他世帯	介2以下	介3以上
1	214人	284人	29.9%	★				★	
2	96人	127人	13.4%		★			★	
3	84人	111人	11.7%				★	★	
4	80人	106人	11.2%		★				★
5	65人	86人	9.1%			★		★	
6	62人	82人	8.7%	★					★
7	51人	68人	7.1%				★		★
7	51人	68人	7.1%			★			★
上記以外	13人	17人	1.8%						
合計	716人	950人	100.0%						

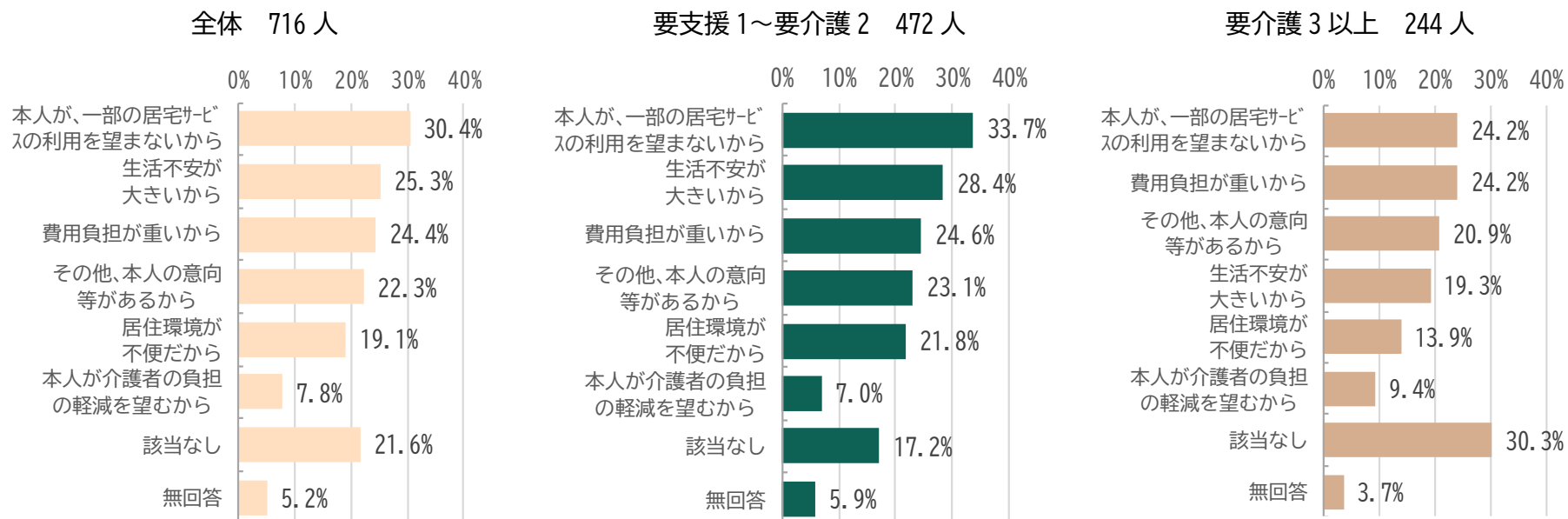
※「粗推計」の出し方は上段のとおり。小数点以下は四捨五入しているため、内訳が合わない場合があります  
また、この表における「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています



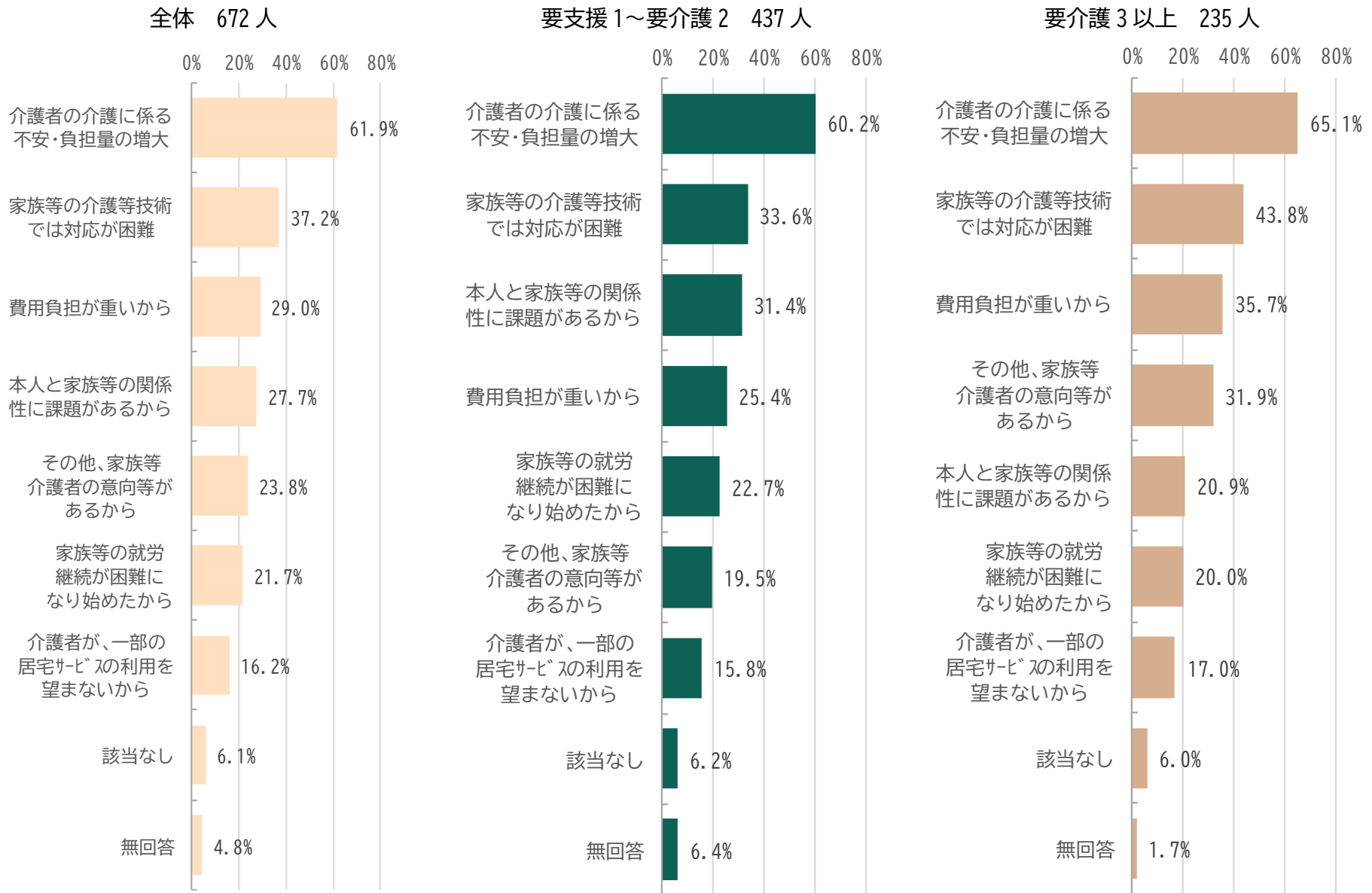
(5) 「生活の維持が難しくなっている」又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」理由(本人の状態に属する理由)(複数回答)



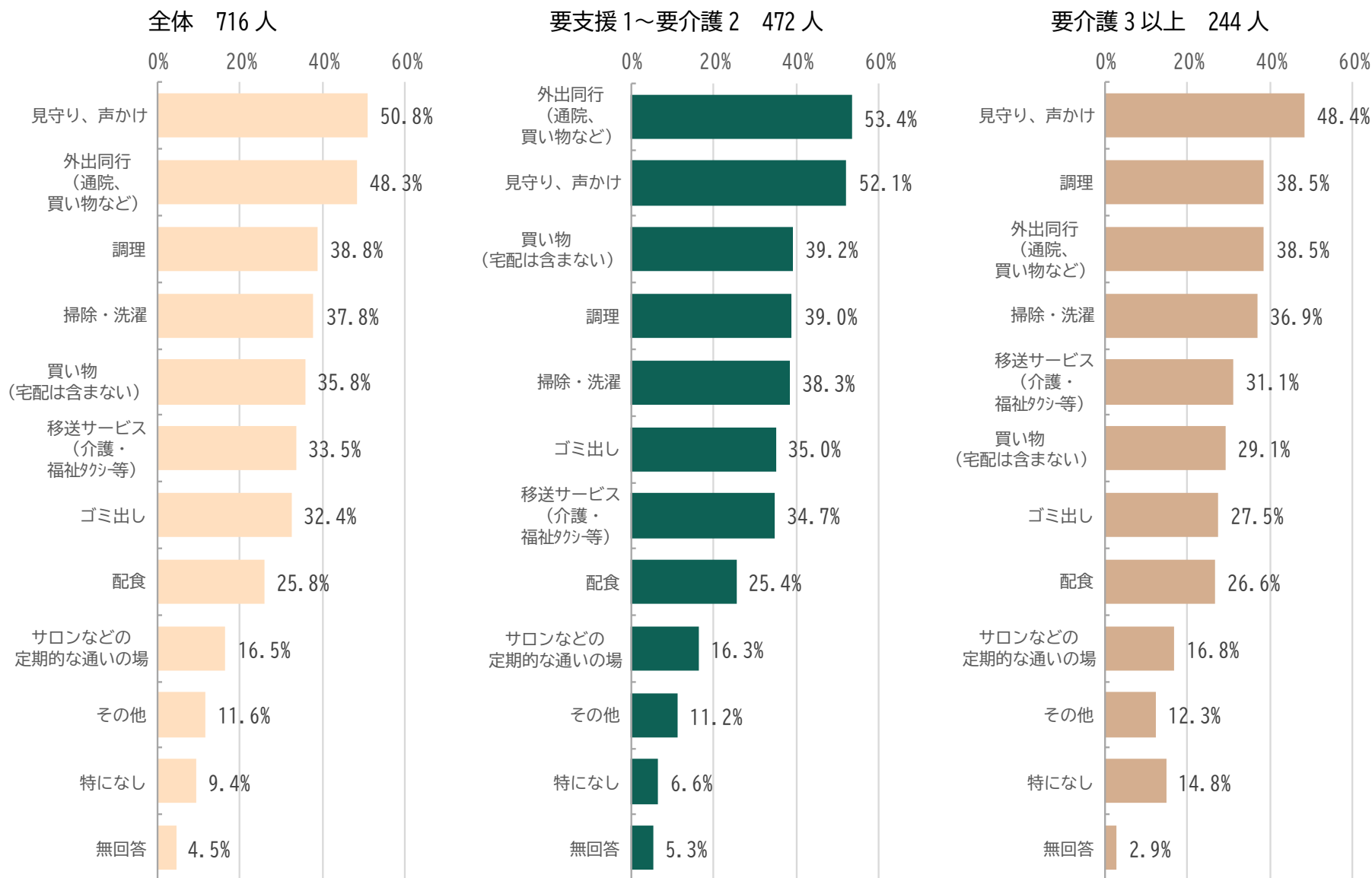
(6) 「生活の維持が難しくなっている」又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」理由(本人の意向に属する理由)(複数回答)



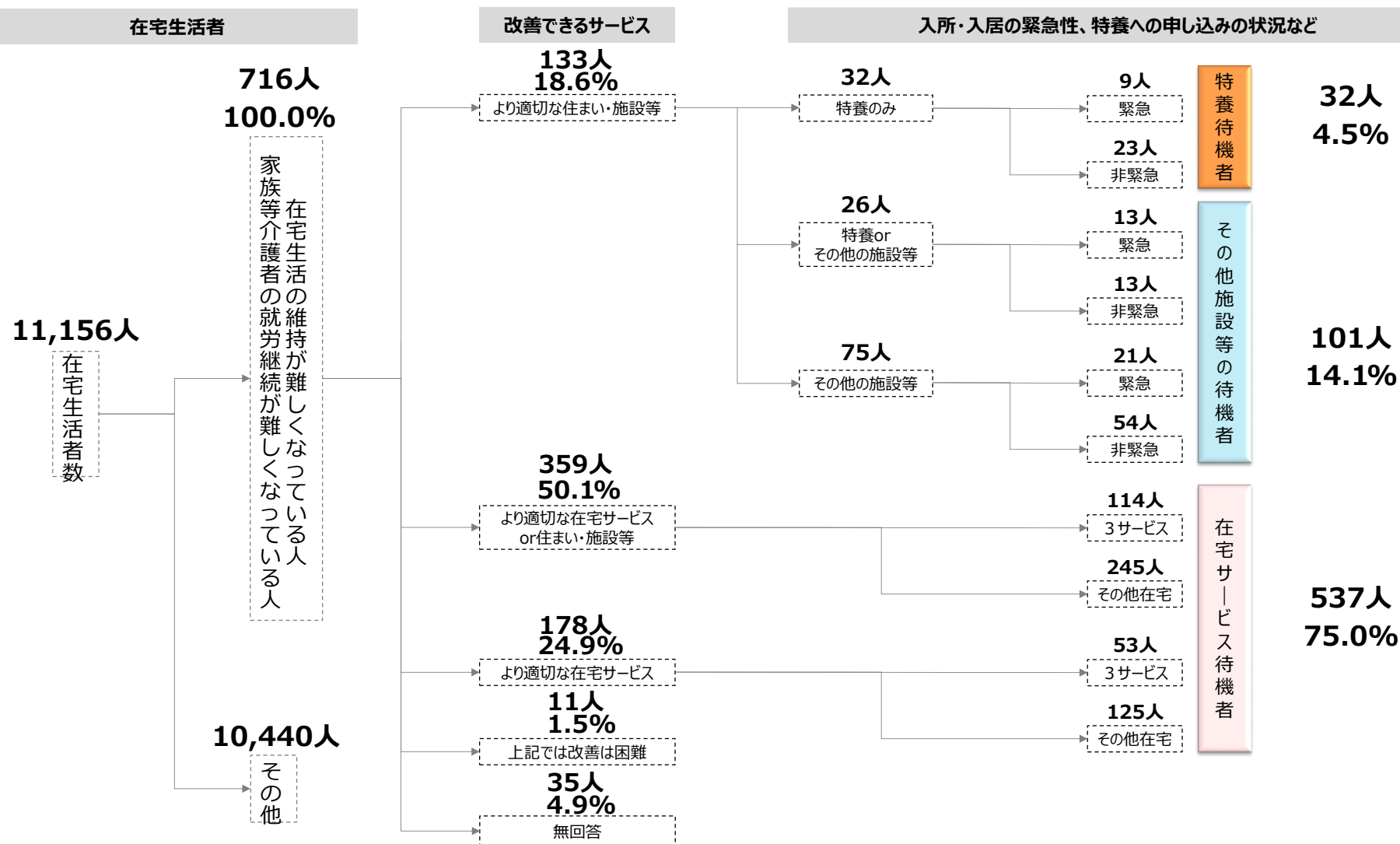
(7)「生活の維持が難しくなっている」又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」理由  
 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由) (家族等介護者がいる人について集計) (複数回答)



(8)「生活の維持が難しくなっている人」の生活の維持又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている人」の介護者の就労継続のために、充実が必要な生活支援（介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む）（複数回答）

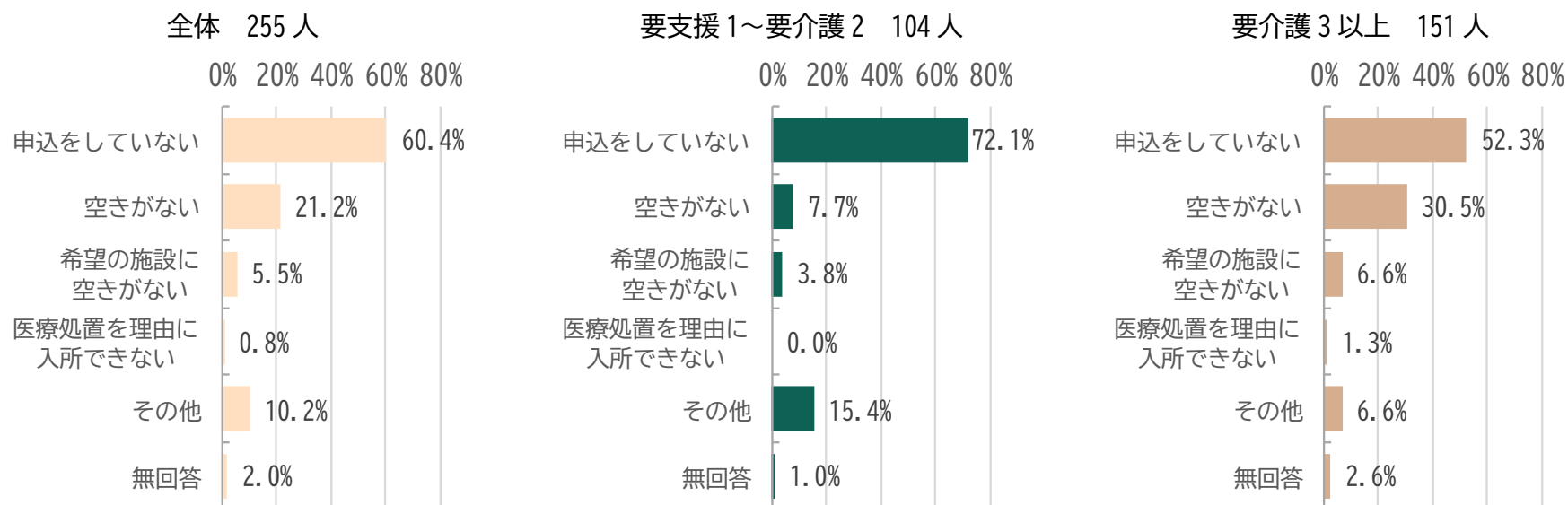


(9) 「生活の維持が難しくなっている」又は「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」人の生活改善に必要なサービス変更



- ※ 「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
- ※ 割合(%)は、「生活の維持が難しくなっている人」「家族等介護者の就労継続が難しくなっている人」の合計716人を分母として算出。
- ※ 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
- ※ 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

(10) 生活改善に必要なサービスで、特養を選択した人が現在特養に入所できていない理由



(11) 生活改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人が、現在入所・入居できていない理由

